

# 諏訪地方の 経済概況 速報

2019.10

2019年9月末調査／2019年10月31日発行

SUWA AREA  
ECONOMIC  
OVERVIEW



諏訪信用金庫  
SUWA SHINKIN BANK

## 諏訪地方の概況

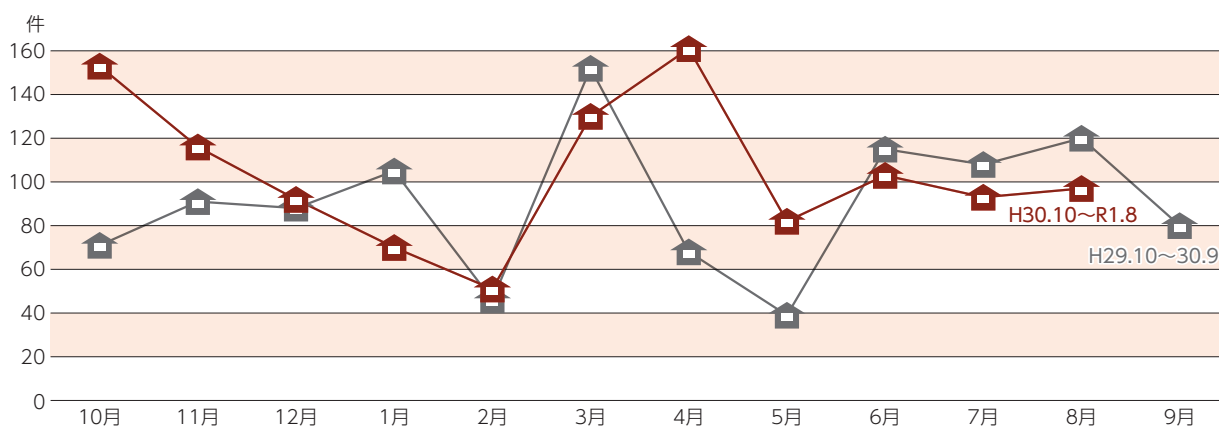
9月は、米国と中国の貿易摩擦が激化し、日韓対立も深まる一方で、サウジアラビアの石油施設への無人機の攻撃で中東情勢も緊迫し、原油価格への懸念が広がった。世界経済の減速が続き、財務省発表の貿易統計では、8月の日本の輸出は中国向けが6ヵ月連続で減少し、米国向けも11ヵ月ぶりに減少に転じ、全体では9ヵ月連続で前年を下回った。外需が減少する反面、内需の個人消費は堅調を保っている。ただ、内閣府発表の9月の消費動向調査では、消費者マインドを示す消費者態度指数が12ヵ月連続で前月から落ち込み、消費増税を前に、内需の景況感が曇りつつある。

諏訪地方では、製造業は輸出関連分野を中心に、総体的に減速傾向が続いた。非製造業は、商業で最週末を中心に日用品などの増税前の駆け込み購入があり、観光業は2回の3連休効果で観光客の入り込みが増加した。建設業は公共工事の発注が増加する一方で、人手不足感が強い。

(諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ)

|                           |           | 実 数      | 前年同期比     |
|---------------------------|-----------|----------|-----------|
| 有効求人倍率【8月】(諏訪公共職業安定所管内)   |           | 1.53倍    | △0.32ポイント |
| 手形交換高【9月】(諏訪手形交換所扱)       | 枚 数       | 4,745枚   | 1,196枚    |
|                           | 金 額       | 6,558百万円 | 1,648百万円  |
|                           | うち不渡り発生状況 | 枚 数      | 0枚        |
|                           | 金 額       | 0千円      | 0千円       |
| 車庫証明取扱件数【9月】(諏訪地方合計)      |           | 1,141件   | 14.7%     |
| 新設住宅着工戸数【2019年4~8月】(諏訪管内) |           | 536戸     | 19.1%     |

### ■新設住宅着工件数の推移(諏訪地方合計)



## 製造業

### 「取引先や製造品によって明暗」

米中貿易摩擦が長引き、世界の貿易量が縮小していることは、輸出や生産の停滞という形で地方景気にも影響をおよぼしている。日本工作機械工業会発表の9月の受注額は、12ヵ月連続で前年同月比マイナスとなり、業界で好不況の目安とされる1000億円を2ヵ月連続で下回った。内需は10ヵ月連続、外需は12ヵ月連続のマイナスで、製造業が新規の設備投資を様子見している。経済産業省発表の8月の鉱工業生産指数も2ヵ月ぶりに低下した。産業用資材が国内で過剰気味で、産業活動の傾向を示す代表的な資材の鋼材やモノの輸送に欠かせず、景気を敏感に反映する段ボールの在庫は、受注均衡の目安を上回っている。諏訪地方の製造業も総体的に低調で、先行きが不透明だが、一部でこれまで低迷していた半導体関連に動きが見られるようになった。世界市場でも米アップルの新型スマホや次世代高速通信5G向けの受注に復調の兆しがあり、今後の広がりが期待される。

|  |   |
|--|---|
| <b>金属製品</b><br>プレス、メッキ、熱処理など               | 低調のまま外部環境が変わらないと業況が回復する見込みがないとする企業の一方で、年末に向けて具体的な量産スケジュールが決まってきたという企業があり、取引先の業種や製造品などによって業況に差が見られる。自動車関連は、日産系が大きく落ち込んだが、回復方針もある。一部で半導体関連の受注も見られる。また、レジ用部品などは消費増税に伴うレジ入れ替えで、受注が安定している。                                     |
| <b>一般機械</b><br>工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など       | 省力化機械は、人手不足で包装機器などの自動化に向けた需要が多い食品関連や医療機器関連などは堅調な一方、景気減速で設備投資が減少し計画先送りの影響を受ける企業も多く、明暗がある。工作機械は、米中貿易摩擦の影響で中国向けは低調だが、自動車製造ライン向けでは動きがある。半導体関連はスマホだけでなく、様々な分野に活用されるため、製造装置部品の受注が増加した企業があり、今後も一定量の需要を見込んでいる。ロボット関連は低調な推移となっている。 |
| <b>電気機械</b><br>家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、半導体関連など | 自動車向け電子部品は、EV電池製品が好調を維持し、増産要求もある。堅調な角度センサーやコネクタは今後も需要が見込まれる。また、これまでゼロに近かった半導体業界向けの受注で、徐々に見積もりが出始めている企業がある。受注先から、製造ラインの確保を依頼されるなど、やや明るさも見え始めている。   |
| <b>輸送用機械</b><br>自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など  | 自動車部品関連は、中国の需要が減少したことから、自動車部品メーカーが中国以外の国へ供給する動きがあり、南米やベトナム、インド向けの受注が増加している。国内向け主体で、米中貿易摩擦の影響は少ない企業もあるが、経営問題で揺れる日産関連の受注は減少傾向が続いている。受注が増加した企業の一方で、景気変動の影響を受けやすい大衆車向けの部品で、回復感がない企業もあり、製造品によって差がある。船外機の受注は低調な動きになっている。        |
| <b>精密機械</b><br>時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など      | 光学部品関連は、不透明だった受注見込みが回復傾向になった企業もあるが、主要取引先の生産調整で大幅減少し長期化する見通しの企業もあり、取引先の状況によって業況が異なる。新製品と年末商戦向けに期待がかかる。好調なメーカーは高級カメラやシネマレンズの動きが良く、ハリウッド映画にも採用されている。高額の特種光学機器関連は安定して推移する見込み。圧力計業界は工作機械向けが低調で、前年比減少傾向となっている。                  |
| <b>製造業全般</b>                               | 鋼材加工は受注にばらつきがあり、半導体や工作機械向けは依然低調。寒天の販売は好調に推移し、12月の生産時期を前に季節労働者の募集が始まった。原材料のテングサの高騰や人材確保が危惧されている。味噌は即席みそ汁などの加工食品が好調。原材料の大豆の価格は安定しているものの、物流コストの上昇が収益面に影響している。漬物は仕入れ材料が7月まで例年に比べて低価格だったが、9月以降は天候不順の影響で高めとなっている。               |

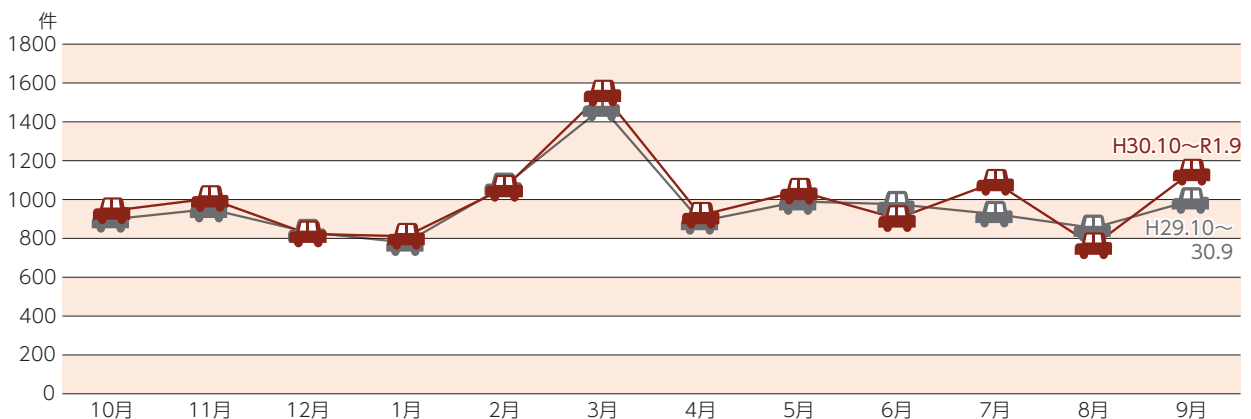
## 商業

### 「最終週に日用品の駆け込み購入」

2014年4月以来、5年半ぶりの引き上げとなる消費増税を前に、商業者はレジや価格表示の付け替えなどの対応に追われた。9ヵ月間の時限措置ながら、キャッシュレス購入によるポイント還元もあり、駆け込み購入は8%時に比べると落ち着いていた。ただ、最終週にはティッシュペーパーなど軽減税率対象外の日用紙製品を中心とした購入が急増した。また、家電も高額商品に動きがあった。県内のガソリン価格は、サウジアラビアの石油関連施設攻撃により原油価格が上昇した影響で、3週ぶりに値上がりした。商業者は、増税後の消費マインドの低下に対する懸念が強く、増税前にサービス券を配布し、増税後の来店を促す動きもあった。

|          |  |
|----------|--|
| 大型店      | 月の後半に増税前の駆け込み購入があり、来店客数が増加した。軽減税率を理解していない消費者もあり、食品や飲料をまとめ買いする来店客も多かった。                     |
| 食料品      | キノコは例年の2割程度で、マツタケも不作。旬のサンマなども不漁で品薄傾向だった。野菜類は比較的安定していた。                                     |
| 家電       | 9月になって洗濯機や冷蔵庫、大型テレビなど高額な電化製品の購入があった。ラグビーのW杯や東京五輪を控え、4Kテレビ購入の動きも出ている。                       |
| 自動車      | 諏訪地方の9月の車庫証明件数は1,141件で、前年同月比145件、14.7%増加した。増税前の駆け込み購入も見られた。                                |
| 飲食店      | 天候に恵まれ、イベントが重なった店は、例年以上の売上だった。焼き肉店ではやや駆け込み現象があった。  |
| 書店       | 駆け込み購入は、コミック漫画のまとめ買いがあった程度。センター試験関連の書籍が売れた。  |
| タイヤ専門店   | 想定以上の増税前の駆け込み購入があった。10月は反動で減少見込み。  |
| 靴店       | 最終週に、駆け込み客が増加した。比較的高額なウォーキングシューズなどの購入が多かった。  |
| ガソリンスタンド | イランとサウジアラビアの対立がさらに悪化する懸念があり、今後の燃料価格の変動は読めない。月末は駆け込み給油があった。                                 |
| 野菜直売所    | 前年は9月からマツタケが入荷し、キノコ類全般の生育が良かったが、今年は全般的にキノコの生育が不良で店頭の商品も品薄だった。キノコの減少分をシャインマスカットなどの果物がカバーした。 |

### ■車庫証明件数の推移



### 観光・サービス業 「好天と連休で入り込み増加」

諏訪地方の9月の天候は、平年より平均気温が1.8度高く、降水量はかなり少なく日照時間が多い残暑が厳しい月となった。白樺湖では降水量が9月としては、長野地方気象台の観測史上最少だった。停電など台風被害があった前年同月に比べて、今年の2回の3連休は天候に恵まれ、各地で団体客の入り込みが多かった。蓼科方面では新規施設が開業し、首都圏の大手企業が研修会場として利用するなど、新たな客層の獲得も期待される。消費増税は、宿泊料金を値上げせず、実質値下げする事業者が多い。それより天候が大きな懸念材料で、昨年台風の影響で起きた停電による食品ロスを出さないため、仕入れを細やかにするなど、天候悪化に備えた宿泊施設もあった。

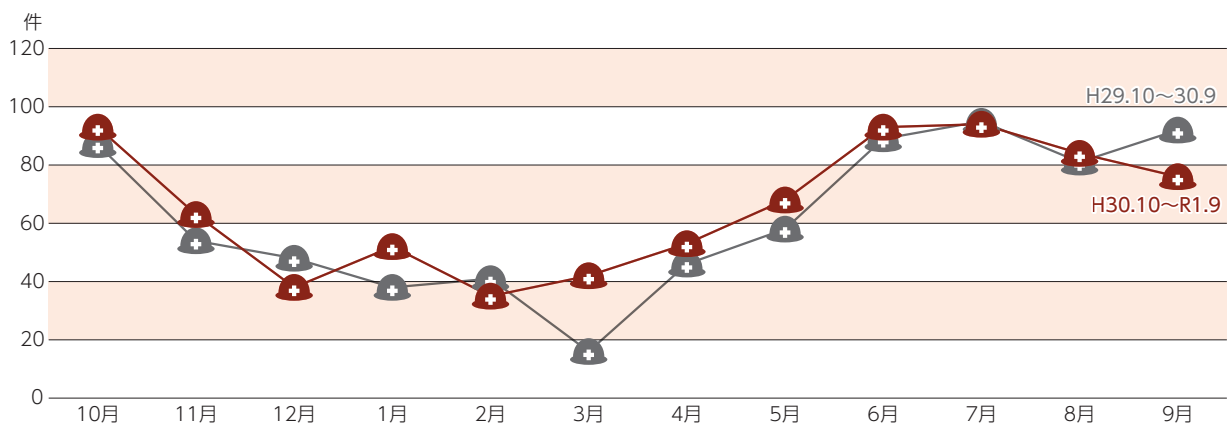
|                |  |
|----------------|--|
| 上諏訪温泉          | 大型連休や新作花火大会などの効果で、団体客と北海道、関東、四国、近畿方面からの宿泊客が前年を上回り、売上が増加した施設が多い。ただ、インバウンドは前年比大幅減少し、取り込めていない。予約状況から、消費増税の影響は限定的と見られる。      |
| 下諏訪温泉          | 9月は例年並みの入り込み。皇室にかかわる歴史がある施設では、10月の皇室行事関連での来客数増加が見込まれている。   |
| 蓼科・白樺湖・車山・富士見等 | この時期としては例年よりにぎわいがあり、屋外施設も不調だった昨年に比べて伸びている。ただ、7月の不振が大きく9月の増収でカバーできない施設もある。最近、諏訪湖のイベントの際、蓼科方面に宿泊する観光客が増加傾向で、新作花火大会時でも見られた。 |
| 諏訪大社           | 上社・下社合わせた9月の参拝者数は約7万8千人。前年同月比では約1万5千人、23.5%増加した。   |

## 建設業 「公共工事増加の一方で人手不足」

9月の市町村からの受注工事は合計76件、1,323百万円となった。前年同月に比べ件数は16件減少したが、契約金額は496百万円増加した。国県関係の2019年4月～9月の累計公共工事（地元業者受注分）は、前年度累計比で件数、契約金額とも増加した。民間工事は、諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数が97戸で、前年同月比23戸減少（△19.2%）した。公共工事は7、8月に件数、金額とも大幅に増加したため、9月は一服感があったが、人手不足で応札がない工事案件もあった。

|      |   |
|------|---|
| 公共工事 | 9月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所12件、諏訪地域振興局農地整備課2件、同林務課2件、県警察本部2件、その他土木・建築等工事1件の19件で、契約金額は796百万円だった。2019年4月～9月の累計は98件、5,241百万円で、前年同期の累計比で件数は25件、契約金額は2,413百万円増加（85.3%）した。市町村からの9月の受注工事は、岡谷市の新西堀保育園・発達支援施設など建築工事4件516百万円、土木工事および下水道工事67件778百万円、その他工事5件29百万円となった。 |
| 民間工事 | 諏訪地方の前年同月と比べた8月の新設住宅着工戸数は、利用関係別で「持家」は同数の61戸、「貸家」は21戸減少の32戸、「分譲」は2戸減少の4戸、「給与」は同数の0戸だった。長野県内の8月の新設住宅着工戸数は1,081戸で前年同月比30.4%減少した。貸家が40.5%、分譲住宅が65.2%それぞれ減少したことが要因となっている。  |

■公共工事の推移（市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く）



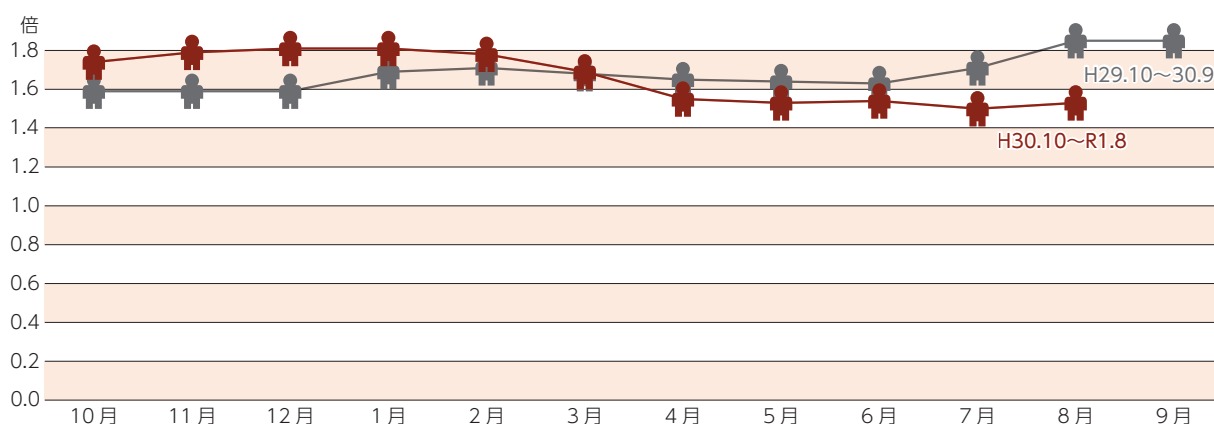
## 雇用

### 「有効求人倍率5ヵ月連続で前年下回る」

諏訪地方の8月の有効求人倍率は、前年同月を0.32ポイント下回り、前月を0.03ポイント上回る1.53倍となった。1倍台以上は65ヵ月連続しているが、今年度に入って5ヵ月連続で前月を下回っている。長野県平均は、前月を0.03ポイント下回る1.57倍で、2年2ヵ月ぶりに1.6倍台割れし、44ヵ月ぶりに全国平均を下回った。全国平均は1.59倍だった。完全失業率は前月と同じ2.2%で、7月に続き、1992年以来の低水準となっている。

諏訪地方の新規求人数(全数)は1,590人で、前年同月比335人減少(△17.4%)した。求人の要因別では、「継続する人員不足」「業務量増大」「欠員補充」「創業・新分野展開」の順。業種別の前年同月比の新規求人数は「飲食店・宿泊業」が増加したが、それ以外の業種はほとんどが減少した。新規求職者数は647人で、前年同月比15人減少(△2.3%)した。1件10人以上の人員整理は0件だった。事業主都合による雇用保険資格喪失者は24人で、前年同月と同数で、前月より2人増加した。

#### ■有効求人倍率の推移



### 《企業のひとこと》

- 3ヵ月前、大手企業から至急で大口受注の引き合いがあったが、いつの間にか立ち消えになった(金属製品加工業)。
- 米中や日韓の貿易摩擦で、海外向けの案件は慎重な対応が必要(一般機械製造業)。
- 外国人研修生の在留期間が延びたが、一時帰国して再来日した際、同じ会社に勤めるか不明で、今まで育てた人材が戻るか不安(電気機械製造業)。
- 注文書が来ないと、受注がどのくらいになるか分からない(一般機械製造業)。
- 昨年多かった受注量に対応する機械が設置段階となったが、現在は受注量が減少し有効活用できない(輸送機械製造業)。
- キャッシュレス5%還元を扱っているが、今回はカード会社が儲かるだけでは(小売業)。
- 法人の予約客が台風被害の復旧ボランティアに向かうことになり、キャンセルになった(飲食店)。
- 入札案件が多く、落札できれば売上が増加するが、人員配置が手一杯(建設業)。
- 千葉で起きた鉄塔倒壊事故などを契機に、台風被害防止に向けたメンテナンスが増加し、業者から観光施設点検の申し入れがひんぱんに来る(観光業)。

# 長野県の金融経済動向

(2019年10月1日 日本銀行 松本支店)

— 2019年の公表日の前営業日時点で利用可能であった情報をもとに取りまとめ。

## 長野県経済は、生産の一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに拡大している。

最終需要の動向をみると、設備投資は増加している。また、住宅投資は横ばい圏内で推移し、個人消費は底堅く推移している。公共投資は持ち直している。この間、生産は高水準ながらも、一部で弱めの動きがみられる。雇用・所得は、労働需給が引き締まった状態が続いており、改善している。

企業の業況感は、製造業では悪化している一方、非製造業では改善している。

## 生産

生産は高水準ながらも、一部で弱めの動きがみられる。

半導体関連・電子部品等では、スマホや産業用機械向けの需要が鈍化するもとの、生産は弱めの動きとなっている。

自動車関連では、国内外の需要動向を受けて、生産は堅調に推移している。

機械・同関連部品等では、計器は、海外需要の動向を受け、生産は弱めの動きとなっている。工作機械は、自動車向けの設備投資の増加を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。成形機は、堅調な国内需要を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。バルブは、国内での設備投資の増加を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。

飲料では、天候不順の影響を受け、生産は弱めの動きとなっている。

## 設備投資

設備投資は増加している。

設備投資は、19年度は製造業を中心に前年度を上回る計画となっている。輸出は、19年度は前年度並みの計画となっている。企業収益は、19年度は前年度を下回る計画となっている。

## 個人消費

個人消費は底堅く推移している。

県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高(当店調べ<店舗調整前>)は、底堅く推移している。家電販売額や新車登録台数は堅調に推移している。

## 公共・住宅投資

公共投資は持ち直している。

住宅投資は横ばい圏内で推移している。

## 雇用・所得

雇用・所得は、労働需給が引き締まった状態が続いており、改善している。

有効求人倍率は、高水準で推移している。

雇業者所得、就業者数は、振れを伴いつつも緩やかに上昇している。

## 物価

消費者物価指数(除く生鮮食品)をみると、19/8月は前年比で0%台半ばのプラスとなっている。



SUWA SHINKIN BANK

## 諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>